



九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンス・カフェ』を始めることになりました。

一般の方々が、科学者と、お茶やコーヒーを飲
みながら、気軽に科学について語り合うことで、
コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、
その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、
インド、オーストラリアなど世界各地に拡がり、
日本では2004年に京都で始められたのが
最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の
方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を
提供しながら、参加者みんなで考えることを
とおして、科学への関心と理解を深めようと
いうものです。科学を身近に楽しめるイベントと
して注目されています。

第5回 サイエンス・カフェ @九工大情報工学部

●日時：2011年 **11月4日(金)**
18:00~19:30

●場 所：九州工業大学・飯塚キャンパス
福利施設2階喫茶 飯塚市川津 680-4

●テーマ：『電子レンジでグリーンイノベーション』

●ゲスト：大内 将吉 氏
おおうち しょうきち

(情報工学研究院
生命情報工学研究系
准教授)

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 必要(定員20名)

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電 話：0948-29-7509(平日10:00~17:00)

メー ル：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp



ゲスト紹介

おおうち しょうきち
大内 将吉 氏
情報工学研究院
生命情報工学研究系
准教授

電子レンジでチーンが、化学技術の現場でも
使われるようになりました。なぜなら、医薬品
や化学品を合成する際にマイクロ波で加熱をす
ると、化学反応の時間が100分の1まで短く
することができるのです。これは、エネルギー
削減・CO2削減につながる画期的な技術で、
まさしくこれからのグリーンイノベーションと
言えます。

マイクロ波をあてると、なぜ物が温まるのか
を、実際にデモ実験で体験してもらうことから
はじまり、興味あるマイクロ波技術の数々を紹
介します。